

# 音が伝えるみち



バイオリニスト

杉田 知子

なんて自然のなかは「眩しい」のでしょうか。厳しい冬から地面の力をたくさんいただいて、柔らかな春に芽吹き、夏には気持ち良いほどすすくと育ち、秋にはその「からだ」をゆっくりと休めて。

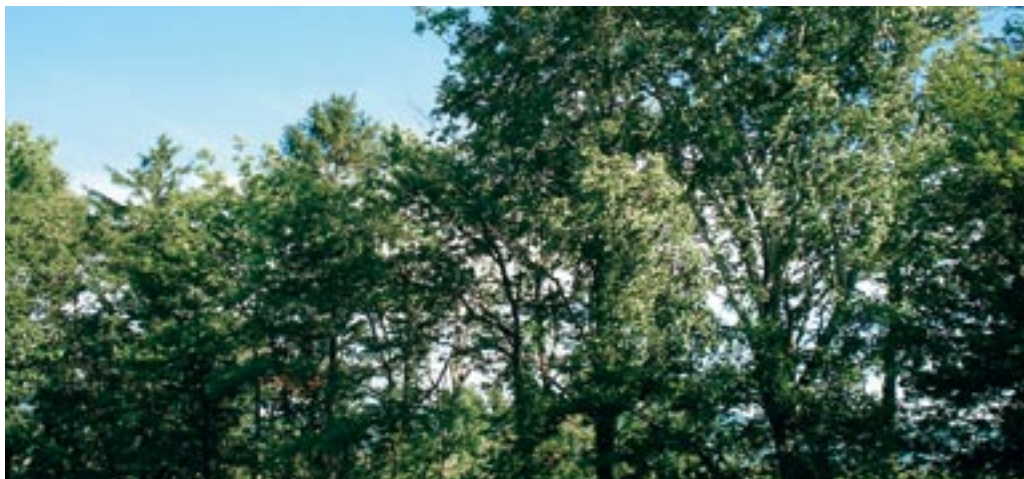
今年ほど、木々の緑が目飛び込んでくることに驚いている。ふっと若葉が透き通るみずみずしさを、気持ちが良いと問い掛けんばかりに。

私も仕事柄地方に出かける事が多く、いつも、どこかで美しい自然と出会っています。道内各地で毎年四季を通じて演奏していると、見えなかった事がこんなにあったのかと、最近感じています。清らかな夜の湖は美しく、恐ろしいほど近づけなく、湖面には月の光が天から降りてこられる様は、導かれるように何者かが音もなく姿を現してくるのです。その光を見ていると、不思議と楽器から思いがけない音が、「生まれて」くるのです。先人が培った道をその日も歩き問い掛けてくるかの

ように。2004年の台風の際はたくさんの木々が自然に帰っていきました。私が生きてきた年月のなかで、これまでに心が木に動かされた事はありませんでした。

幼い頃、美唄で生まれた私は森の中で育ちました。木々の葉の擦れる音、葉と葉の間からこぼれる光、風の強い日などは根本から唸り枝が風に舞い、その音たるや家中を襲うかのよう。雨に濡れた葉はいつしか日の暖かさで甘い香りを伝えてくれました。このような出来事を私は全身で覚えていたのでしょうか。

目を覚ませてくれたのが、自然に帰っていった木々達でした。大きな樹木ほど倒れ、小さな木を抱き守るかのよう思えました。しばらくしてその地を訪れた時です。もう前に向って生きてるじゃないですか。倒れた木の隣ではもう新しい「命」が凜と立ち、人々に語りかけておりました。「もうだいじょうぶ」地元の方がおっしゃるには、



美唄市ふるさとの森から

「自然はそうなった時から生まれ変わり、悲しんでいる場合じゃないんですよ」と。

私は「ハッ！」と驚かされました。人間は勝手なものです。この美しい自然の中で生きている事を忘れてしまうことがあるのです。身近な風景の中で、道路沿いの地面にも魅力的な美しさがそこにあることを。自分が目を閉ざしていたに過ぎなかったのかもしれませんが。気づいた時には「今まで何を！」っと…。

そんな中で、不思議な時間に入ってしまった事がありました。有珠善光寺建立二百年記念でのコンサート中です。茅葺き屋根、畳、襖、虫たちとの共存するなかで音が出ました。風は襖を通り、虫たちは譜面を横切りながら…。その時です、「プーン」と潮の香りが！ 冷静に演奏していた私にある映像が飛び込んできました。この200年の間に、善光寺までどれだけの人々が、道を歩き、お参りに訪れたのかと。その時には二人の私が同居していた気がします。

何故！ どうして！ きっと目に見えない人々が伝えてくださったのでしょうか。楽器も人と立っている場所と共鳴し合い、循環し、音が流れているのでしょうか。

バイオリンは左手と右手と違う動きをして音をつくっています。目で楽譜を見て、その指示が左右にわかれて！ 弓を弾き、長い音短かい音、強い音弱い音。そして指では弦を押さえて音程（道しるべ）を創るわけです。

でもタイミング良く合わないと決して音が楽器

から出てこないのです。そしてそこにはもう一つ、忘れてはいけない大切なものが……それは「心」です。どの様な色で、どの様な香りで、どの様な思いで。それらの事柄が叶った時に、やっとその人の音になり「生まれて」くるわけです。

「道」もまた人がつくり出すもの。何もない所にどれだけの思いが重なり、人の手によってきり開かれ、そして通いだす！

人は道を歩き音は空気の中を歩きそして両者ともある言葉を持ち続けています。「つたわる」方法は数え切れないほどある中、「言葉」とは、「言の葉」。木々の葉は枝に、枝は幹に、幹は根につながっていて……。根元が健康でいなければ、葉も幹も元気でいられません。人が話す「言葉」、根元は「心」でないでしょうか。潤う心がみずみずしい言葉となり、その思いが楽器を通し音に生まれかわる事でしょう。そして両者とも「道」があり、人々が伝え合う、続き、歩む限り……。

杉田 知子 (すぎた とこ)

#### Profile

美唄市出身。フェリス女子学院短期大学音楽科卒業。札幌交響楽団のエキストラプレイヤーをはじめ、道内外でソロ・室内音楽を中心に、クラシックからポピュラー・ジャズに至るレパートリーで幅広い活動をしている。1994年に、女性だけの弦楽四重奏団「カルテット・クオーク」を結成／主宰し、バッハ・モーツァルトなどのクラシックはもとより、映画音楽、ポップス、ピアソラに至る広いレパートリーで親しまれている。弦楽四重奏団としてのコンサート活動のかたわら、NHK「音楽大陸北海道」STV「日高晤郎ショー」などにも出演。2007年1月、東京銀座ソニービルにて北海道フェア（北海道観光連盟主催）北を奏でる。また、身障者施設、介護施設、病院などの訪問演奏も積極的に行っている。



美唄市茶志内の田園風景